

五省会ニュース

発行所
 特定医療法人五省会西能病院
 〒930 富山市五福1130
 TEL (0764) 41-2481(代)
 発行人 西能 正一郎

五省
 一 至誠に悔るなかりしか
 一 言行に恥づるなかりしか
 一 氣力に怠るなかりしか
 一 努力に憾みなかりしか
 一 不精に怠るなかりしか

医療における伝承と創造

十人が参加、六演題を発表

盛岡で 西能理事長が「中小病院のひろば」の司会を

「医療における伝承と創造」をテーマにした第四十三回日本病院学会は六月十七日から十九日までの三日間、盛岡市の岩手県民会館をメインに六会場で開催された。一般演題二百十五題、特別講演、シンポジウムなどで二十一世紀の医療構築を目指した。

第43回日本病院学会



会場前での記念撮影



表彰状を手にする
 発表者の味噌町子さん

西能病院から西能理事長（日本病院会常任理事）ら十人が参加、次の六演題（カッコ内）

は発表者）を発表、西能理事長が「人事管理―職員活性化のための私の工夫―」（中小病院のひろば）の司会をつとめた。

「看護職員のコスト意識について」（金谷智恵子）、「栄養補給チューブの挿入を体験して」（刑部和子）、「術前処置のための追跡調査について」（津川久美子）、「当院における自衛消防活動」（森紀）

「院外処方箋の功罪」（上田謙一）、「新聞の死亡広告について」（吉崎智）

「看護部の味噌町子さん」
 なお、昨年六月、大阪で開かれた第四十二回学会で「高齢者の与薬工夫」を発表した看護部、味噌町子さんから四人が学会長から優良演題で表彰された。

「二題の概要は次の通り」

速やかに、静かに

栄養補給チューブの挿入を体験して

―栄養補給の手段に経管栄養の患者さんが増加している。当病棟では脳血管障害などで常時十人前後の患者さんに付いている。そこで、十人の看護婦が苦痛の程度を体験した。

その結果、適切な手技で、速やかに、静かに栄養チューブを挿入することや、声かけは必要最小限にする、チューブの確実な固定、注入液の適温、注入最適速度などを体得する

手術当日の流動食摂取状況など）を行った。その結果、とくに洗腸しても腸内に食物残渣が残留し、腸管麻痺を助長しており、術前術後には消化の良い食事が望ましいことがわかった。今後、内服薬に関する関連調査をつづけていきたい。

消化の良い食事を手術前処置の改善をめざして

形外科の年間手術件数はやむを得ず四百件である。全身麻酔下で、術後機能性腸管麻痺が多いことに気づき、術前処置改善のための追跡調査（麻酔時間、

休日診療のあゆみ

西能 正一郎

私共の病院の休日診療は、「病気に休みはない、医療の原点に立つて患者さんサービス」というのが建前であり、そのころ、にぎやかになって来た、週休二日制を取り入れようと考えたとき、職員諸君に休日を増やすことに休日を替わりに、そのお返しとしてせめて休日も働いて、人件費の増加がカバー出来ないものか、というさもしい本音の部分もありました。

だんだん奉仕の精神を体得

年中無休と言いたいところですが、せめてお正月とお盆、開院記念日は休みましょうという事で、職員諸君に提案したところ、病院の生き残りを賭けて取り組もうと全面的

に賛成してくれてスタートしたのであります。職員の立場では、週休二日といえ、土・日の二日連休でなければ意味はなく、他の週日に休むのなら休日なんか呉れなくてもよい、と思っている人が殆どであろうとは思っています。

しかし、私の医療機関で二日続けて店を閉めることは致命的で土台無理な話です、どうしても交替で休んで店だけは開けておくという手を使うしか方法がなかったのであります。

いるように見えますが、それでもなお、休日に仕事をさせられる病院というイメージダウンが、新職員採用のネックになっていないとはいえないというのが実情であります。

然しながら、このような病院を辞めないで頑張っている諸君、そして休日診療の病院であることを承知の上で入職し、チームの中に溶け込んでくれている諸君が安定し、仲間が増えてきておりますので、休日においでくださる患者さんの感謝の気持ちを受けとめて、段々医療の原点である病

める人に奉仕する精神を体得していただけるものと期待しております。

あすなろ

名画劇場の岩波ホールといえ、ば総支配人を二十五年もつとめる高野悦子さん、高野さんといえ、えは旧津高女出身の富山県ゆかりの女性だ

映画への夢を賭けた彼女の歩みは何度か聞いたが、彼女の抜群の行動力を支えてきたのは、「ともかくやろう」の精神だったようだ。日本では映画監督に女性はなれぬとわかり、よし、それでは、とパリへ。そこで高等映画学院進学めざし必死でフランス語を学んだというのもその精神の表れだ。世の中には準備万端整えて、という慎重派も多い。が一方、あれこれ思案するより、「ともかく、やろう」とスタートする人も

いる。それが思いがけない展開を生み、思いがけない成果をあげる。京都教育大の坪内稔典教授はこういう。「慎重になり勝ちな教育では、つい準備不足を心配して足踏みする傾向が強いが、私は「ともかく、やろう」の愛用者。始めてしまえばおのずからその展開に責任をもたざるを得ないし、真剣に考え、行動し、思いがけない可能性を開くものだ」

暑中お見舞い申し上げます

平成五年盛夏
 特定医療法人五省会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|---------------|-------------|--------------|-------------|-------------|---------------|
| 理事 西能 正一郎 | 理事 西能 中永 久光 | 理事 西能 中尾 哲雄 | 理事 西能 米田 寿吉 | 理事 西能 石川 実 | 理事 西能 寛田 英二 | 理事 西能 稲垣 忠一 | 理事 西能 大上 紀美雄 | 理事 西能 尾山 征一郎 | 理事 西能 神沢 幹夫 | 理事 西能 河上 弥一郎 | 理事 西能 西能 綾子 | 理事 西能 西能 西能 孜 | 理事 西能 坂本 重一 | 理事 西能 笹山 真治郎 | 理事 西能 土田 亮一 | 理事 西能 古沢 富美 | 理事 西能 西能 職員一同 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|---------------|-------------|--------------|-------------|-------------|---------------|

より活性化を ③ 第四回院内研究発表会から

「看護サービスの向上を目指して―退院時のアンケート調査を再検討して―」看護部三階東チーム十三人、発表者平野多佳得



平野看護婦を囲んでのミーティング

看護は患者さんとの関係が基調となつて展開されていくものであり、看護者の態度や在り方が、看護の質を決定していくものである。

①看護婦のしてくる世話に満足しているか。非常に満足89人(59%)、だいたい満足55人(36%)、どちらともいえない7人(4%)、やや不満(1人、1%)

②ナースコールを押した時の対応はどうか。直ちに応答があり、

すぐ来てくれる81人(53%)、応答があり来てくれる63人(41%)、応答はあるがすぐ来てくれない8人(6%)

世話に非常に満足している89人(59%)

退院患者さんが感じた看護サービスは

言葉遣いや態度が大変よい73人(48%)

③看護婦の印象(言葉遣い、態度)は、どうか。たいへんよい73人(48%)、よい55人(36%)、普通23人(15%)、やや悪い1人(1%)

このアンケートの調査結果をふまえ、よりよい看護の充実を図るため、入院患者さんから看護に関する細部の意見を聞かせてもらった。これは日常業務の中で行われている基本的援助に関する十六項目である。

これらのアンケートの評価を分析、患者さんの立場をよく考え、看護婦の学習不足を客観的にとらえ、現任教育の充実と業務の見直しに活かしていきたい。また、患者さんの真実の声を聞くためにも看護部以外の職員の協力により進めていきたいと考えている。

病院だより

六月

十七日〓山本看護部長が富山市体育館で「のびやかに美しくストレッチ」を指導。主催は富山れもん会。

二十日〓電気ビル四階特別室で華道・松風会の健康教室。山本看護部長が「のびやかにストレッチ」を指導。主催は市教育委員会。

七月

三日〓西能院長が県総合体育センター(主催は県スポーツ振興財団)で「スポーツ障害に関する相談」のアドバイザー。

五日、十二日〓西能理事長が高岡文化ホールで「腰痛とおつきあひ」講演。主催は県民生涯学習カレッジ。

十四日〓入院患者さん百三十一人が衆院選の不在者投票。

さらに内科を強化

西能病院は、六月から堀江章彦医師を迎えさらに内科を強化しました。次は抱負です。



慢性疾患を中心に

慢性疾患を中心に、糖尿病、高血圧症などの慢性疾患は自覚症状に乏しく、知らぬ間に動脈硬化症を進行させます。そして心筋梗塞、脳出血などを引き起こします。快適な生活をおくるために慢性疾患を早期のうちに見つけ、治療を続けることが必要です。

新人の抱負

新米をよろしく
まだまだ、新米看護婦の域を脱しない私ですが、皆さん、よろしくお願ひします。

職場に溶けこみ
一日も早く職場に溶けこみ、患者さんにも喜んでもらえるよう頑張りたいです。

経験をいかして
今までの経験を全部いかして、有意義に仕事ができるよう勉強していきます。

明るく頑張りたい
早く職場と仕事に慣れるよう、明るく、がんばりたいと思います。よろしくお願ひします。

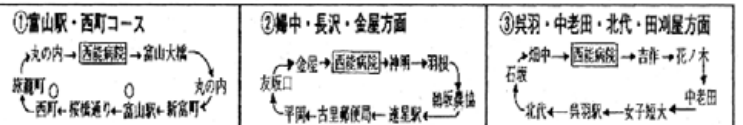
窓口で笑顔
病院の顔の窓口では笑顔で接し、周りの方々と仲良くやっていきたいと思っています。

指導を受けて
コンピュータの仕事から医療の仕事に入り皆さんのご指導を受けて、頑張ります。

診療体制のご案内

通院バスのご案内

月曜～土曜 午前運行(日曜、祝日は休み) 〇印は常時停留所、その他、臨時停車します。



休日診療 (日曜日・祝日)

午前8時	整形外科
午前8時30分	内科
午後5時	リハビリテーション科

平日診療 (月曜日～土曜日)

午前8:30～12:00	整形外科
午後4:00～7:00	内科
午前8:30～12:00	リハビリテーション科

火・土曜日 午後4:00～7:00	スポーツ外来
-------------------	--------

金曜日 午前9:00～12:00	糖尿病外来
------------------	-------

月曜日 午前9:00～12:00	循環器外来
------------------	-------

日帰りコース・1泊2日コース (水・金曜日)	人間ドック
2泊3日コース・3泊4日コース	健康事業部 8:30～17:00

土曜日 午後1:30～5:00	泌尿器科外来
-----------------	--------

木曜日 午後2:00～5:00	神経内科外来
-----------------	--------

木・金曜日 午後1:30～4:00	在宅看護・診療
-------------------	---------

月曜日～土曜日 午前10:00～11:00	栄養指導
-----------------------	------